

旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必／選	コース／フィールド
国語	言語文化	3	1	必	特進コース／難関突破
科目の目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を伸ばすとともに、自分の考えを深めることができるようにする。言葉の価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言語文化としての担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
教科書	言語文化(数研)	副教材等	学ぶぞ古文漢文（尚文出版） 重要古文単語 3 1 5（桐原書店）		

1. 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を伸ばすとともに、自分の考えを深めることができるようにする。
(3)言葉の価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言語文化としての担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
○古文入門 古語と現代語 仮名遣い	6	4	古典を読むために必要な文語のきまり歴史的仮名遣い、古典特有の表現などについて学ぶ。	○		○
○説話 児のそら寝 絵仏師良秀	10	5	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。		○	○
○古典文法入門 品詞 用言の活用	8	5・6	古典を読むために必要な文法の基本を理解し、定着させる。用言をマスターする	○		○
○漢文入門 漢文入門 故事成語	6	6	漢文訓読の基本である漢文の構造・訓点・書き下し文を習得する。音読に慣れる。	○		○
○随筆 徒然草	8	7	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。おもな助動詞の用法を学ぶ。	○	○	○
○物語 伊勢物語	10	8・9	物語の中に表現されている人物の心情を読み解く。和歌の読解を学ぶ。	○		○
○漢文 史伝	5	9	漢文で書かれたストーリーを読み取る力をつける。句法に関する知識を身につける。	○	○	○
○随筆 枕草子	8	10	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。助動詞と助詞をマスターする。	○	○	
○漢文 漢詩	5	10・11	漢詩、特に近体詩のきまりを理解する。作品を鑑賞するとともに、暗唱にも取り組む。	○		○
○日記 土佐日記	8	11	我が国の言語文化の特質について理解している。「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	○	○	

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
○漢文 思想 論語・孟子	6	12	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	○	○	
○近代小説 羅生門	8	1・2	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。積極的に改稿前と後の文章の印象の違いを捉え、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○
○和歌 万葉・古今・新古今	2	2・3	歌集や時代による歌風の違い、修辞法などを理解している。主体的に作品の鑑賞を行う。	○	○	